

秋です。新学期になりました。

地域によっては、すでにとっくに始まっている学校もあるかもしれません。東日本大震災から半年。夏の停電はなんとか回避できましたが、これからもまだまだ予断をゆるしません。政治では、政権がまた交代。こちらは迷走が続いています。とはいえ、世の中はとまってはくれません。

先生方、夏休み中の充電はいかがでしたか。ネットワークでは、今夏も「夏休み経済教室」を中心に、先生方に役立つ情報や研修機会を提供してきました。担当の先生方は、暑い中、東奔西走でした。

今月も、ネットワークの活動情報とこれからの予定をお送りします。

---

◆ 目次

---

【 1 】 最近活動報告

2011 年度の夏休み経済教室の様子中心に報告します。

【 2 】 イベントカレンダー

これからの予定をまとめて掲載します

【 3 】 授業のヒント

---

【 1 】 最新活動報告

---

1) 「夏休み経済教室」の報告

第四回目となる、東京証券取引所と共催の「夏休み経済教室」が 8 月 1 日の名古屋教室から、8 月 23 日の東京高校対象教室まで全国各地で開催されました。

前半の 8 月 1・2 日名古屋は「ウインクあいち（愛知県産業労働センター）」、8 月 4・5 日の福岡は「福岡交通センター」、8 月 8・9 日の大阪「天満研修センター」でした。後半の 8 月 18・19 日東京中学、8 月 22・23 日の東京高校は、節電の関係でこれまでの東証が使えず、日本大学経済学部 7 号館で開催されました。各会場とも、予想を上回る先生方の参加があり熱気ある研修会となりました。

講義内容では、中高の教科書を読み解く（中川雅之、野間敏克、加藤一誠、大竹文雄、榊原宏司の各先生が担当）や大学入試問題解説（西村理先生担当）の他、地歴の先生方向けの講義（篠原代表担当）が行われました。

講演では、東京中学での林敏彦先生「日本経済の現状、地震・津波・原発事故を超えて」、

東京高校での飯田泰之先生の「経済教育に経済学はいらない?」、同じく東京高校での大田弘子先生の「日本経済の現状」が行われました。それぞれの先生の持ち味を生かした講演は、多くの感銘、共感を与えました。

実践報告では、三枝利多、奥田信一郎、岩本知之、中川克己、岩野知美、李洪俊の各先生から各会場で報告をいただきました。また、教育関係からは、栗原久、山根栄次、大杉昭英、大倉康裕、水野英雄の各先生からのコメントや解説を頂きました。入試のシンポジウムでは、篠原代表、升野伸子先生、関口信氏の参加を得て昨年度の入試プロジェクトの総括がなされました。

今回は、文科省や金融広報中央委員会をはじめとして、各地の教育委員会、研究団体の後援をいただき、ちらしによる広報やHP上の案内、中日新聞やリクルートのメルマガなどを通じた紹介もあり、参加者が昨年に比べ大幅に増加しました。各会場の参加状況は以下の通りでした。

8月1日	名古屋中学	63名	8月2日	名古屋高校	79名
8月4日	福岡高校	70名	8月5日	福岡中学	57名
8月8日	大阪高校	111名	8月9日	大阪中学	108名
8月18、19日	東京中学	119名、88名			
8月22、23日	東京高校	144名、138名			

延べ人数にして、総計 977 名で、残念ながら 1,000 人にはなりませんでしたが、大きな成果となりました。

各会場での内容の概略はネットワーク HP でご覧ください。

また、林先生、大田先生、飯田先生の講演は、全文を整理して別途 HP に掲載予定です。なお、各会場で寄せられた質問は、整理をしてこれも HP に掲載予定です。

## 2) 経済教育ワークショップ札幌が行われました。

「夏休み経済教室」の合間を縫うように、8月6日に、「経済教育ワークショップ(札幌)」が、キャリアバンク札幌で、36名の先生方の参加で、開催されました。

ネットワークからは篠原代表、大竹文雄先生が基調講演並びに提言の講師として参加され、演習等の助言者として千葉県立松戸向陽高等学校(前文部科学省教科調査官)の大倉泰裕先生、信州大学の栗原久先生、北海道教育大学の濱地秀行先生が参加されました。

当日の様子は、ネットワークの以下 HP でご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/activity/event/2011.8.6%20Sapporo%20report.pdf>

### 3) 大竹文雄先生 TV 出演その後

前号でもお伝えしましたが、ネットワーク副代表の大竹文雄先生が、7月26日から4話にわたる「真夏の夜の経済学」(NHK 教育=E テレ)の最初の2話に出演されました。また、8月14日信やには再放送がありました。この種の番組は再々放送も冬にあるはずですので、見落とされた方はNHKに問い合わせなり、要望されるとよいと思われます。番組HPは以下の通りです。

<http://cgi2.nhk.or.jp/navi/detail/index.cgi?id=7720110729>

---

## 【 2 】 イベントカレンダー

---

これからの主な予定を掲載します。

#### ■大阪部会 (No.25)を開催します。

日時：9月3日(土) 18時00分～20時00分

場所：同志社大学 大阪サテライト

内容：報告、12月の年次大会の準備、他

参加方法などは、以下のネットワークHPをご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/osaka/Osaka025flyer.pdf>

#### ■東京部会 (No.41)を開催します。

日時：9月15日(木) 19時00分～21時00分

場所：日本大学経済学部7号館10階7104教室

内容：夏のセミナーの総括、他

参加方法などは、ネットワークの以下のHPをご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/tokyo/tokyo041flyer.pdf>

■雑誌『経済セミナー』で連載中の「中学・高校の経済学教育」の第四回が、9月25日発売の同誌に掲載される予定です。今回の執筆者は札幌開成高校の川瀬雅之先生で、テーマは「国際経済を高校で教える一手作り教材から高大連携へ」です。手に取ってお読みください。同誌のHPは以下の通りです。

[http://www.nippy.co.jp/magazine/maga\\_keisemi.html](http://www.nippy.co.jp/magazine/maga_keisemi.html)

---

### 【 3 】 授業のヒント

---

前回のクイズの問題と解答を掲載します。

- 第1問 たいていの億万長者は大学を卒業している。(○)
- 第2問 たいていの億万長者は週40時間以下しか働いていない。(×)
- 第3問 億万長者の半数以上は、親の財産を受け継いでいない。(○)
- 第4問 億万長者が買い物をするために持っているカードは、スーパーマーケットのものよりも、クレジット会社(Amex)のゴールドカードの方が多い。(×)
- 第5問 億万長者が乗っている車は高級車より大衆車の方が多い。(○)
- 第6問 たいていの億万長者は、スポーツ・芸能・ITといった派手な仕事に従事している。(×)
- 第7問 たいていの億万長者は、大企業の上位500社以内にランクされている会社で働いている。(×)
- 第8問 億万長者になった人の中には、豊かでないときに宝くじに当たった人が多くいる。(×)
- 第9問 大学を卒業すると、高卒の人よりも約65%多い所得を得られる。(○)
- 第10問 毎日、何回も株式取引を繰り返しているデイ・トレーダーの多くが、億万長者になっている。(×)
- 第11問 億万長者になりたければ、リスク(危険)の多い株式取引は避けるべきだ。(○)
- 第12問 億万長者になるには、結婚するよりも、独身でいた方がよい。(×)

正解数 10~12問で50%、7~9問で40%、4~6問で30%、1~3問で20%とのこと。

結果はいかがでしょう。要するに、億万長者になるには、堅実にしっかり生き、かつチャンス逃さない勇気、創造性などが必要ということのようです。一攫千金はないということで、ネット上や世に出されている億万長者本とは全く違うので、ちょっと安心ですね。これらのクイズに関する情報の詳細は、山岡・浅野著『アメリカの高校生が読んでいる経済学』アспект、以下のシリーズに豊富に掲載されていますので、授業のネタ本として活用されるとよいと思います。

---

### 【 4 】 編集後記 (みみずのたはこと)

---

---

今年も、夏の教室の行脚にでかけました。昨年は、途中でぎっくり腰になったので、今年も、とにかく注意深く行動しました。でも、「腰痛に要注意」なんて親父ギャグです。ところで、教室で印象的だったのは、ネタ研恐るべしということです。

奥田先生、李先生の実践報告はちょっと圧倒的でした。そのなかで、地元ネタの紹介があり、某回転寿司を事例としての授業展開が紹介されていました。そこで、帰宅してさっそく実地踏査にゆきました。奥田先生発見の「学校の近くにある」という法則は、残念ながらあてはまりませんでした。とにかく子供づれが多いのが印象的です。

待ち時間 30 分と表示がされていましたが、二人だったので 5 分程度でカウンター席に通されました。効率と公平の事例です。同行者はあまり外食をしないので、とにかく物珍しいのか、これはどうなっているの？と興味津々でした。結論としては、この店は、寿司を食べると言うより、しかけを楽しむ場所という感じです。寿司も正当なネタ？より、揚げ物やマヨネーズを使ったちょっと変わったネタが好まれているようでした。それでも、省力化、魅力作りなど、業界の技術革新に驚きを感じる体験でした。授業に使えるネタが豊富にあることも確認できました。

やはり今回の結論も、百聞は一見に如かずです。  
こんどは別の店に行って比較してみるのも良しかなと思っています。(新井)

=====  
登録に心当たりのない方、今後配信を希望されない方は下記会員ページよりお  
手続き下さい。

<http://www.econ-edu.net/aboutus/contact.html>

=====



編集・発行 : 経済教育ネットワーク

————— (C) Network for Economic Education ◆◇